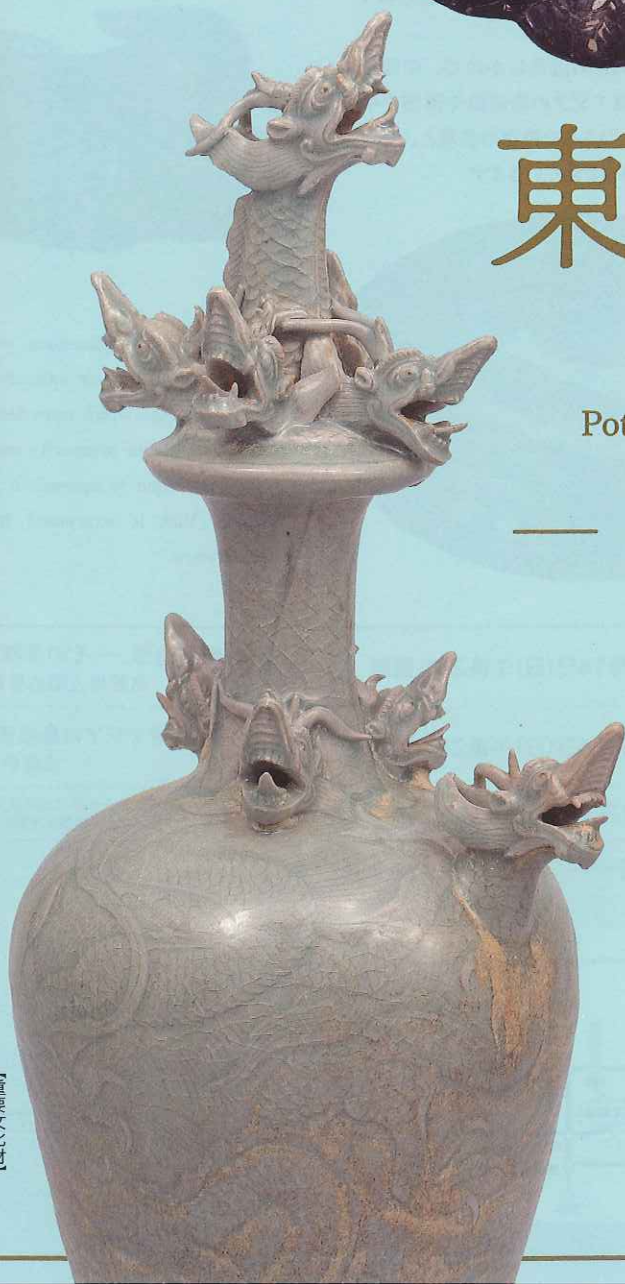




螺鈿水禽文輪花盆(部分)  
中国・明時代



〔重要文化財〕沃懸地青貝金貝時絵群鹿文笛筒 日本・江戸時代



〔重要文化財〕  
青磁九龍浄瓶(部分)  
朝鮮・高麗時代

# 東アジアの動物

The Animals  
of East Asia:  
Pottery and Lacquer

# 動物

— やきものと漆 —

2022年

7月8日(金)～

8月14日(日)

- 休館日/毎週月曜日(ただし、7月18日(祝)は開館し、翌19日(火)が休館)
- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
- 入館料/一般 630円/高校・大学生 420円/小学・中学生 無料  
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料  
※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引
- アクセス/近鉄・奈良線(学園前駅)下車徒歩約7分

## 大和文華館

奈良  
学園前

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL(0742)45-0544

# 東アジアの動物

The Animals of East Asia:  
Pottery and Lacquer

— やきものと漆 —

灰陶加彩駝駝  
中国・南北朝時代



美術の中には、実に多くの動物の姿を見ることが  
できます。龍や鳳凰、魚や鹿、鳥は何の  
ために、どのようにあらわされたのでしょうか？  
これらの動物には、祥瑞(良いこと、めでたいこと  
のしるし)とされた想像上の霊獣もいれば、長生き  
や子孫繁栄、富貴栄華など良い意味を付けてあらわ  
された動物、実在する身近な動物もいます。角や牙、  
鱗や翼を持ち、水中を自在に泳ぎ、空を舞う—人とは  
異なる姿や能力を持つ動物に対して抱く畏敬や憧憬  
の念は、これらの動物や創造された生きものへの信  
仰を生み出し、また身近な愛らしい動物は、慈しみ、  
愛翫する対象ともなりました。東アジアの美術にあ  
らわされた瑞獣や動物の表現には、人と動物の様々  
な関係をうかがうことができます。  
この展覧会では、古代から近世にかけて、中国や  
朝鮮半島、日本など東アジアの陶磁器や漆器を中  
心に、美術の中にあらわされた動物の表現と、そこ  
に込められた意味について見ていきます。



蒔絵翼鶴文硯箱  
日本・江戸時代

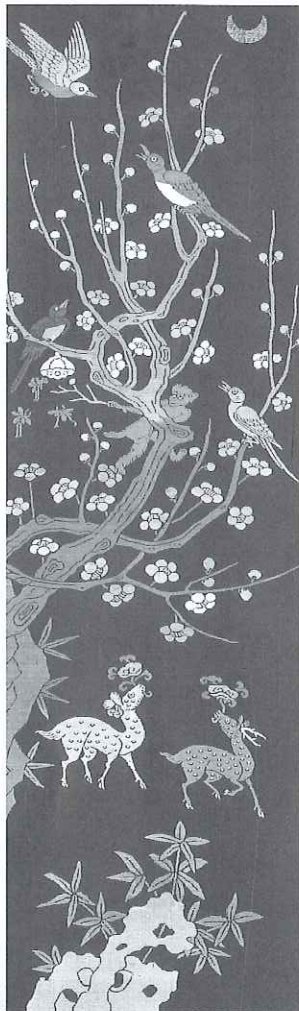


金銅鴨鶩形水滴  
日本・室町~江戸時代

Dragons and phoenixes were considered good  
omens alongside animals, such as fish, birds,  
deer, and horses, which were deemed to be symbols of  
one's descendants' prosperity and a life of abundance.  
Take your time to appreciate the world of lifelike  
animals that is expressed in the pottery and  
lacquerware.



白磁蟠龍博山炉 中国・隋唐時代



清水裂(部分) 中国・明時代



螺鈿魚文盃 朝鮮・朝鮮時代

特別講演 8月14日(日)午後2時・講堂 「中国古代の動物造形 — その多様性と変容」  
泉屋博物館名誉館長 小南 一郎 氏

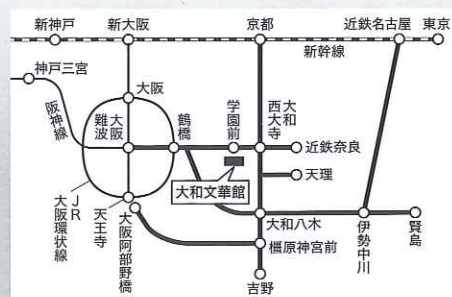
日曜美術講座 7月24日(日)午後2時・講堂 「美術の中の鳥 — 東アジアの鳥の表現 —」  
当館学芸部課長 瀧 朝子

列品解説 毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、  
スライドによる展覧会解説となる場合があります。

◎夏休み無料招待デー 7月27日(水)・28日(木)



近鉄奈良線(学園前駅)下車、南出口より  
徒歩約7分、無料駐車場あり  
至近鉄奈良



# 大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6  
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

大和文華館 検索 @yamatobunkakan